



メンバー表

OTOWAカップ 第35回 関東女子ラグビーフットボール大会 第6節

2024/12/08
14:00 Kick Off
府中朝日フットボールパーク

立正大学アルカス (Host)			YOKOHAMA TKM (Visitor)		
合計得点	前半	後半	前半	後半	合計得点
			T		
			G		
			PG		
			DG		
			計		

レフリー
池田 頌 (関東協会)
タッチジャッジ
清水 鳴哲 (関東協会)
溝口 寿恵 (関東協会)
岡村 淳 (関東協会)

立正大学アルカス						
#	Pos.	氏 名	資格	年齢	身長/体重	出身/所属
1	PR	伊藤 仁那		20	163/63	麗澤高校
2	HO	公家 明日香		30	163/69	立正大学
3	PR	鈴木 麻瑠		19	170/74	東海大翔陽高校
4	LO	大久保 芽衣		20	176/62	利府高校
5	LO	吉村 乙華		23	174/76	立正大学
6	FL	加藤 璃子		18	160/62	正智深谷高校
7	FL	長田 いろは		25	167/62	立正大学
8	No.8	宮波 ひなの		20	163/62	四日市メリノール学院
9	SH	阿部 恵		26	147/52	立正大学
10	SO	村田 美咲		19	158/62	京都成章高校
11	WTB	松井 溪南		24	156/55	立正大学
12	CTB	小出 深冬		28	165/58	東京学芸大学
13	CTB	山田 晴楽		20	162/66	深谷高校
14	WTB	丸山 希香		18	156/55	深谷高校
15	FB	今釘 小町		22	158/60	立正大学
16	Re.	平山 有香		18	158/59	石見智翠館高校
17		小玉 陽菜		19	155/70	正智深谷高校
18		吉水 愛莉		19	161/55	明和県央高校
19		谷口 令子		32	166/65	東京学芸大学
20		長瀬 拓美		22	153/52	京都成章高校
21		大塚 朱紗		25	163/65	流通経済大学
22		農山 紗叶		21	145/50	石見智翠館高校
23		廣瀬 翠		19	159/58	開志国際高校

YOKOHAMA TKM						
#	Pos.	氏 名	資格	年齢	身長/体重	出身/所属
1	PR	吉田 菜美		25	165/75	千葉県立八千代高校 → 山梨学院大学
2	HO	小島 晴菜		23	162/84	追手門学院高校 → 四国大学
3	PR	藤 殊華		23	171/78	追手門学院高校 → 立正大学
4	LO	谷山 美典		25	167/68	福岡県立福岡高校 → 立正大学
5	LO	松永 美穂		32	173/72	成城学園中学校高校 → 東京女子体育大学
6	FL	小島 碧優		24	164/64	神奈川県立菅高校 → 日本体育大学
7	FL	永岡 萌		25	164/67	石見智翠館高校 → 流通経済大学
8	No.8	永井 彩乃		27	168/90	石見智翠館高校 → 日本体育大学
9	SH	高橋 沙羅		23	153/56	湘南工科大学附属高校 → 日本体育大学
10	SO	キャシー・シアタガ	F	29	177/84	MidlandCollege
11	WTB	アカニシ・ソコイワサ	F	25	166/70	JasperWillamsHighSchool
12	CTB	堀毛 咲良		24	159/61	兵庫県立神戸甲北高校 → 追手門学院大学
13	CTB	グレイス・ブルツカー	F	25	173/80	UniversityofCanterbury
14	WTB	堀川 侑愛		23	169/72	とわの森三愛高校 → 日本体育大学
15	FB	山本 実		27	169/69	東海大学付属相模高校 → 日本体育大学
16	Re.	森永 菜月		23	166/73	九州学院高校 → 日本体育大学
17		高見澤 早詠		20	163/76	山梨学園高校 → 山梨学院大学
18		用貝 涼乃		28	165/64	滝川第二高校 → 神戸神和大学
19		ロエラ・ラディニャブニ	F	34	167/75	SuveGrammarSchool
20		小池 くるみ		20	162/66	開志国際高校 → 順天堂大学
21		新原 響		27	156/60	東海大学付属相模高校 → 日本体育大学
22		角川 穂乃花		23	164/60	群馬県立大泉高校
23		アテカ・レイヤモ	F	23	164/70	JasperWillamsHighSchool

* 背番号の白抜きはキャプテン * 資格は F:外国籍, A:アジア, E:特別 * メンバーは変更になる場合があります。メンバーボードをご確認下さい。

『FOR ALL, FOR EARTH. 日本ラグビー協会は、いつも環境に配慮した活動をめざしています』